

ソーシャルイノベーション創出につながる
企業の社会貢献活動のためのフレームワーク構築
—リコーの社会貢献活動の事例を通じて—

【 要 旨 】

ソーシャル・イノベーション研究科
ソーシャル・イノベーション専攻
2024年3月修了
赤堀 久美子

【 要 旨 】

本研究は、企業がソーシャルイノベーションを生み出す手段として、社会貢献活動の価値を問い直し、社会価値創出につながる社会貢献活動を企画・実施・評価するためのフレームワークの構築を目的とした。先行研究、自身の実践者としての経験値、所属するリコーの成功事例、先駆的な実務家のレビューをもとに、ソーシャルイノベーションを生み出す社会貢献活動に欠かせない7つの要素を特定し、社会貢献活動を実施する際の一般的なPDCAプロセスである構想（ステップ1）、企画（ステップ2）、実施（ステップ3）、評価（ステップ4）において、7つの要素をどのように組み込んでいくかを示した。また、リコーで実施している社会貢献活動である若者支援プログラムをフレームワークを用いて分析し、プログラムの改善点を明確にし、実践に活用できることも確認した。企業が社会貢献活動に取り組む際に、本フレームワークを活用することで、企業による社会価値の創出を後押ししたい。